



2020年1月4日～2020年1月10日

2020年1月14日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円では上昇した一方で、対米ドルでは下落しました。また、2年国債金利は低下しました。

週初は、米国とイランの対立による中東の地政学リスクの高まりが投資家心理に影響を与えたことで、リスク資産であるブラジル国債は売られ金利は上昇しました。しかし、地政学リスクが後退するにつれ金利は一転下落に転じました。ブラジル・レアルについても週初はブラジル・レアル安が進行したものの、その後は横ばいでの推移となったため、結局対米ドルでは下落となりました。

経済指標に関しては、11月の鉱工業生産の発表があり、前月比・前年比ともに市場予想を下回る結果となりました。また、12月のIPCAインフレ率の発表もあり、市場予想を上回る結果となりました。前月に続き、食品価格の上昇がインフレ率の上昇に寄与しました。

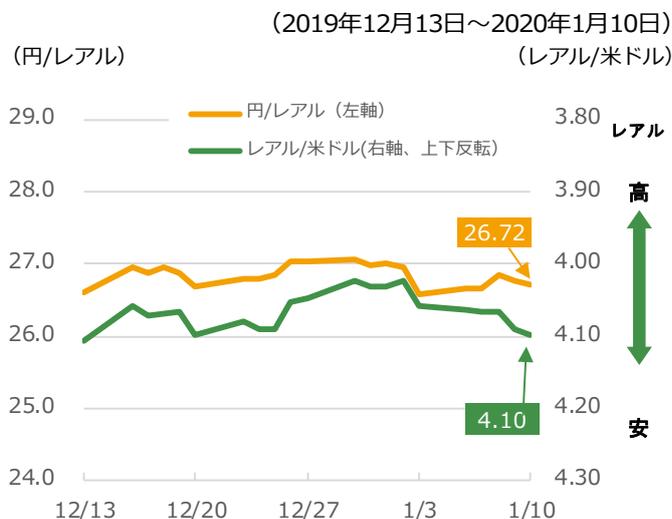
今週の見通し

今週は11月の小売売上高や経済活動指数などの経済指標の発表が予定されています。

ブラジル国内では、食品価格の高騰を受けインフレ率が足元上昇しており前年比で+4.31%となりましたが、ブラジル中央銀行の2019年のインフレ目標値(+4.25%)と概ね一致しており、今後のインフレ動向が注目されます。

また、中東の地政学リスクに関しても一旦落ち着きを取り戻してはいるものの、引き続き動向を注視する必要があると考えられます。

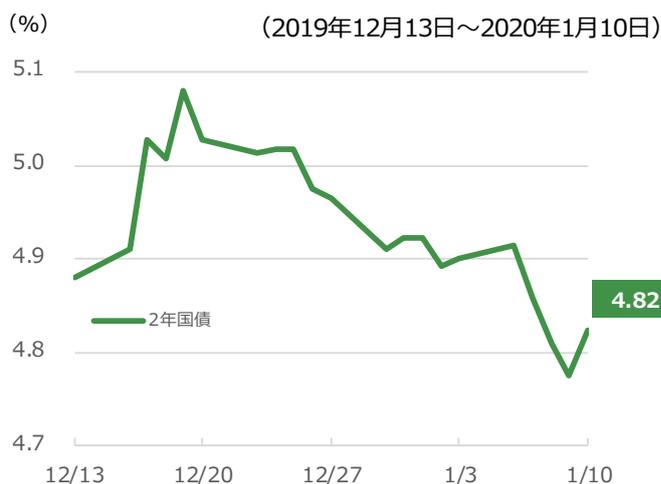
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。